

原著の序文

本書はホワイト・イーグルが多年にわたり、人類同胞の道をテーマとして、つまり「光への道」について語った教示を集録したものです。最初の五章までは連続講話の靈示から引用しました。ところにより順序が変わったところもありますが、ホワイト・イーグルの呼び方どおり、道Ⅰ、道Ⅱ……と致しました。以上が本書の前半を構成しています。後半は同じ主題を展開したのですが、人類同胞の道を歩まれる方々のために、勇気と英知の灯となるような小節を集め、しめくくりました。

靈示をお伝えするに先立ち、集会の模様を少し記しておきます。初めレコードで音楽を少し流し——この場合ワグナーの「パルジファル」の中から聖金曜日がかげられます——ホワイト・イーグルはきまつてお祈りをします。この祈りで聴衆の心は外界の騒がしさから切り離されます。次に、ホワイト・イーグルは人々に挨拶を送り、多

数の霊たちや天使たちがそこに列席していることに気付かせます。これら集会のこと、及び行われた場所については、本書のシリーズの第三巻の序文に記してあります。（訳者注、これは『秘儀への道』。なおこのシリーズの第一巻は『靈性進化の道』、第二巻は『天使と妖精』、第四巻は本書『光への道』。いずれも桑原訳で出版されている。）

本書をお読みのすべての方々に、とこしえの幸福があることを強く希望いたします。